

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 財務課
 担当名: 施設整備担当
 内線: 6646

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B37	自立と社会参加を目指す特別支援学校整備事業			一般会計	教育費	特別支援学校	特別支援学校施設費	県立特別支援学校教室不足対策費	
事業期間	平成26年度～	根拠法令	学校教育法第72・76・80条			針路	05 未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール	4
						分野施策	0503 多様なニーズに対応した教育の推進	SDGsターゲット	4-a
1 事業概要 特別支援学校における児童生徒増への対応を図るため、新たな特別支援学校の設置を行うとともに既存校における学習環境等の整備充実を図る。 (ア) 知的障害特別支援学校の設置 節約による減及び国庫交付決定に伴う財源更正 △116千円 (イ) 知的障害特別支援学校の設置(重点) 委託料に係る入札差金等による減 △29,250千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 知的障害特別支援学校の設置 2,262,127千円 (ア) 高校内分校3校の設置(工事)(令和5年開校予定) (イ) 既存校2校の増築(工事)(令和5年供用開始予定) イ 知的障害特別支援学校の設置(重点) 122,895千円 (ア) 高校内分校3校の設置(設計)(令和6年開校予定) (イ) 既存校1校の増築(設計)(令和8年・10年供用開始予定) (2) 事業計画 ア 知的障害特別支援学校の設置 (ア) 高校内分校3校の設置(工事)(令和5年開校予定) 久喜特別支援学校白岡分校、狭山特別支援学校狭山清陵分校、川口特別支援学校鳩ヶ谷分校 (イ) 既存校2校の増築(工事)(令和5年供用開始予定) 川越特別支援学校、三郷特別支援学校 イ 知的障害特別支援学校の設置(重点) (ア) 高校内分校3校の設置(設計)(令和6年開校予定) 大宮商業高校内分校(仮称)、新座柳瀬高校内分校(仮称)、三郷北高校内分校(仮称) (イ) 既存校1校の増築(設計)(令和8年・10年供用開始予定) 川口特別支援学校 (3) 事業効果 児童生徒増への対応及び特別支援教育の充実を図る。 (4) 補正予算の概要 ア 知的障害特別支援学校の設置 : 節約による減及び国庫交付決定に伴う財源更正 イ 知的障害特別支援学校の設置(重点) : 委託料に係る入札差金等による減					
2 事業主体及び負担区分 (ア) 知的障害特別支援学校の設置 公立学校施設整備費負担金(国5.5/10・県4.5/10) 学校施設環境改善交付金(国1/2・県1/2)									
3 地方財政措置の状況 (ア) 知的障害特別支援学校の設置 公共事業等債(財対分)(142,000千円)の元利償還金の50%が後年度基準財政需要額に算入される。									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.5人=14,250千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	県債						
決定額	△29,366	410,999	△439,000					△1,365	2,355,656
現計額	2,385,022		2,320,000					65,022	

事業内訳書

事業名	自立と社会参加を目指す特別支援学校整備事業		
単位事業名	知的障害特別支援学校の設置	予算額	△ 116千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△47	—	節約等による旅費の減
需用費	△65	—	節約等による消耗品費、印刷製本費の減
役務費	△4	—	節約等による通信運搬費の減
合計	△116	—	

単位事業名	知的障害特別支援学校の設置（重点）	予算額	△ 29,250千円
-------	-------------------	-----	------------

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△32	—	節約等による旅費の減
需用費	△9	—	節約等による消耗品費、印刷製本費の減
委託料	△29,209	—	入札差金等による高校内分校4校の設計費の減
合計	△29,250	—	